

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社  
九州電力株式会社  
九電不動産株式会社  
株式会社大福物流

## 福岡県糟屋郡にマルチテナント型物流施設 「ロジポート福岡粕屋」の開発を決定

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 キース藤井、以下「ラサール不動産投資顧問」、九州電力株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長 池辺 和弘、以下「九州電力」、九電不動産株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長 大神徳仁、以下「九電不動産」、株式会社大福物流(本社:熊本県上益城郡甲佐町、代表取締役社長 木村 嘉宏、以下「大福物流」)は、マルチテナント型物流施設「ロジポート福岡粕屋」を開発することをお知らせします。



【鳥瞰案】※完成イメージ

「ロジポート福岡粕屋」は、ラサール不動産投資顧問、九州電力、九電不動産の3社が共同出資する特定目的会社が事業主体となって開発を行います。また、当施設の1階部分は大福物流が賃借し、運営することが決定しています。

福岡県糟屋郡に所在し、九州自動車道「福岡インターチェンジ」から約1.7kmと至近で、福岡市の中心地から約7kmと消費地を目前に控えた好立地にあり、福岡市中心部への配送や、高速道路網を利用した九州圏や中国地方等への広域配送にも優れています。さらに福岡空港まで約6km、博多港まで約10kmと、陸路輸送のみならず空路・海路輸送においても優れた立地となっております。また、JR香椎線「土井駅」まで徒歩9分と希少な立地で、従業員の交通利便性も高く、良好な雇用環境も兼ね備えています。

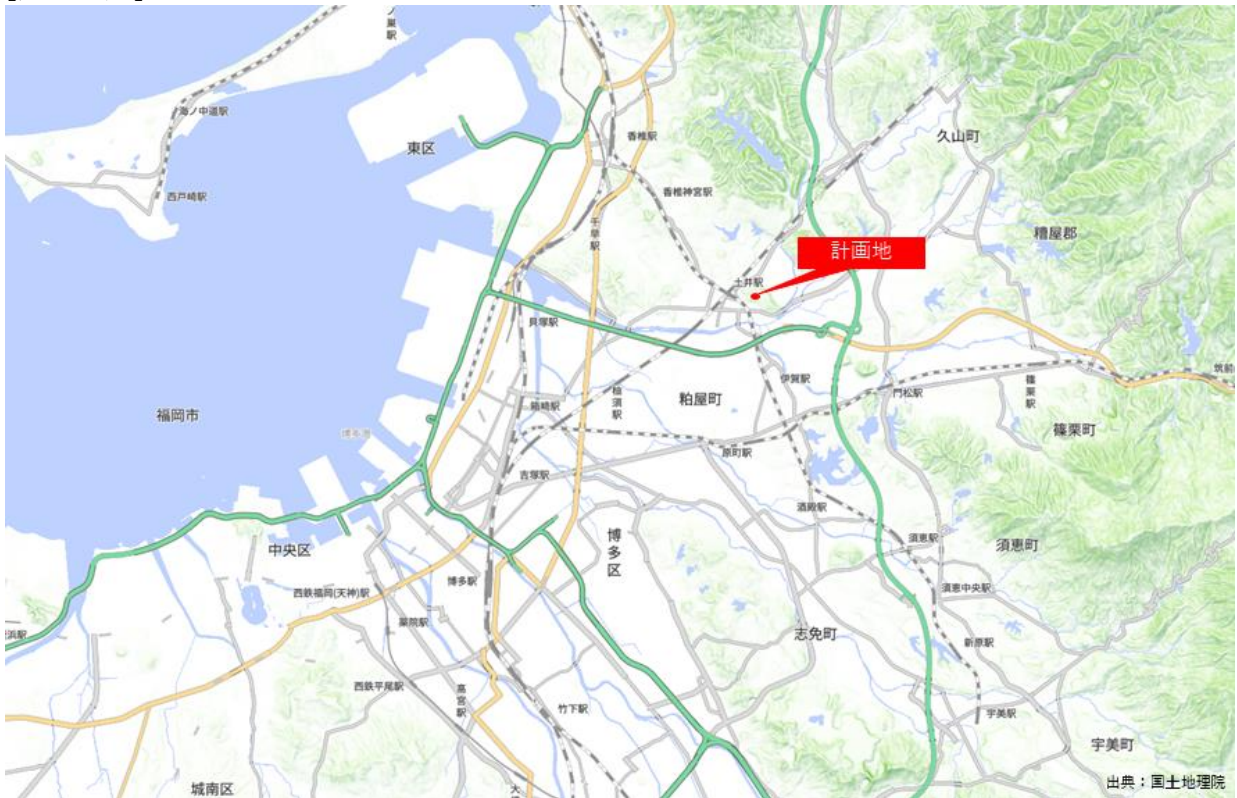
2023年6月の着工、2024年8月の竣工を予定しており、敷地面積約81,700㎡、延床面積約92,600㎡、地上3階建てのシングルランプウェイを備える大型物流施設となる予定です。

各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっています。ラサール不動産投資顧問、九州電力、九電不動産、大福物流は当施設を通じて、多様化する物流需要に応えるべく、事業を推進してまいります。

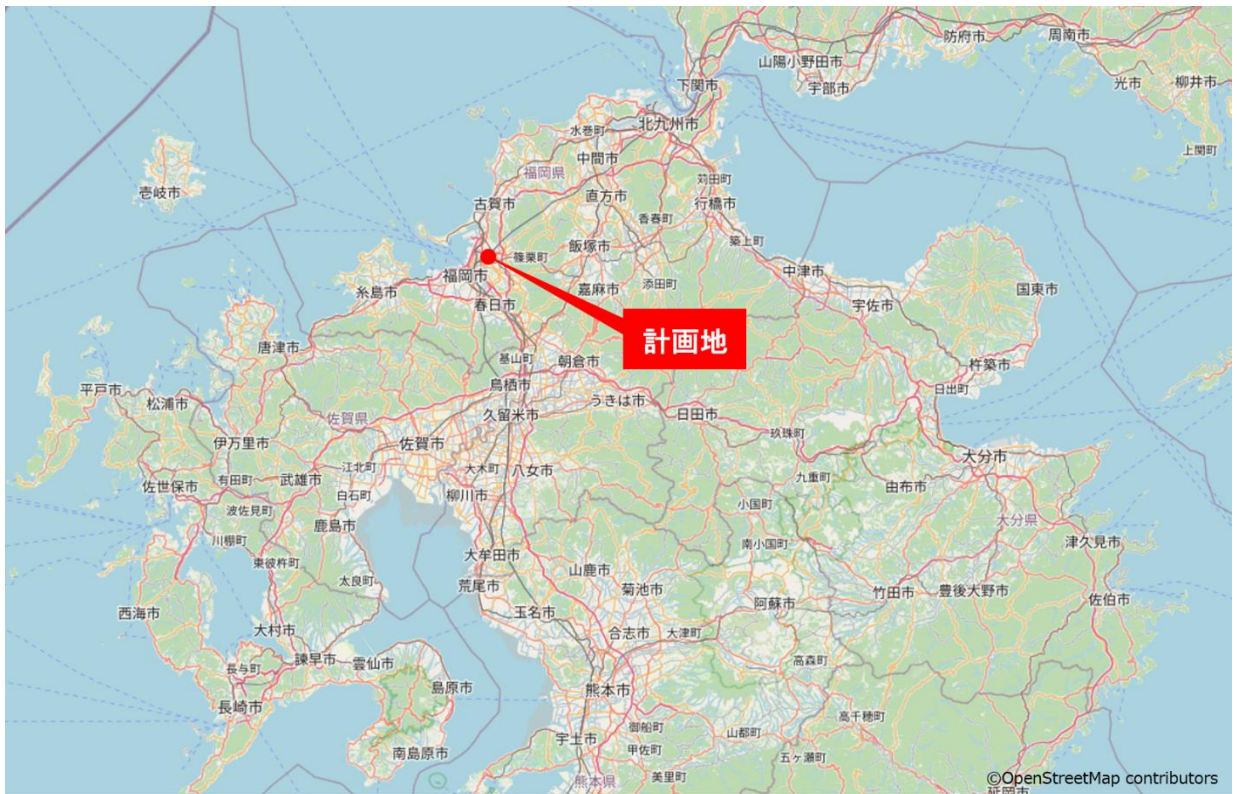
### 【施設概要】

施設名:ロジポート福岡粕屋  
所在地:福岡県糟屋郡粕屋町大字江辻字江辻尾 837 番地他(地番)  
敷地面積:81,664.19㎡(約24,703坪)  
延床面積:92,608.40㎡(約28,014坪)  
構造:鉄骨造、SRC造、地上3階建  
用途:マルチテナント型物流施設  
着工:2023年6月(予定)  
竣工:2024年8月(予定)  
施主:福岡プロパティ特定目的会社

【周辺地図】



【広域地図】



### **ラサール不動産投資顧問株式会社について**

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 820 億米ドルです(2022 年 6 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、<http://www.japan.lasalle.com> をご覧ください。

### **九州電力株式会社について**

九州電力は、「ずっと先まで、明るくしたい。」というブランドメッセージのもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、九州とともに成長を続けてきました。「九電グループ経営ビジョン 2030」で掲げた戦略の柱の1つである「持続可能なコミュニティの共創」を目指して、2020年7月に都市開発事業本部を立ち上げ、九州を中心に国内外で様々な都市開発事業に取り組んでいます。本件は、電子商取引の拡大等を背景に今後も成長が期待できる物流施設事業において、九電グループの取組みとして3件目、九州域内で初めての開発型物流施設事業です。当社は、今後も収益基盤の強化のため、積極的に物流施設事業を展開するとともに、業界や地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献していきます。詳しい情報は、<https://www.kyuden.co.jp/>をご覧ください。

### **九電不動産株式会社について**

九電不動産は、お客さまに「未来につながる、快適で環境にやさしい、安心な空間」を提供するというビジョンのもと、九州電力の子会社として九電グループ一体となって不動産事業を積極的に展開しています。不動産事業としては、マンション分譲、商業系賃貸等に加え、物流施設事業に力を入れており、九州域外で冷凍冷蔵倉庫を取得するなど、事業の推進に取り組んでいます。詳しい情報は、<http://www.qfk.co.jp> をご覧ください。

### **株式会社大福物流について**

大福物流は、株式会社木村の子会社として「私たちは誠実さを第一に、『日々の豊かな“暮らし”を創る』ことに挑戦し、地域社会に貢献します」のグループ企業理念を軸に、全九州エリアをカバーする営業網と、食品物流に特化し常温・定温・チルド・フローズンの 4 温度帯に対応した、人・車輛・自社センター・配送網を完備しております。また、「物流品質 No.1 企業」をスローガンに、豊富なセンター運営の経験に基づく、安全・安心で確実な仕分けや管理で、お客様のセンター構築・運営に貢献し、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、食品メーカー、各小売店舗などに幅広く活用されています。大福物流の物流グループ内には食品輸配送及び重機運搬を担うサンエックス、日用品雑貨配送、大型輸送を得意とする物流春日が地域社会に貢献すべく事業を展開しています。詳しい情報は、<http://www.pd-daifuku.co.jp> をご覧ください。